



5月! ポーポキのまち雨の季節がやってきました。緑が生き生きとしているけれど、ポーポキはぬれるのが苦手です。それでも、大きな傘とレインブーツで雨の日も楽しく過ごそうとします。あなたは、どのような楽しい雨の日の過ごし方をしていますか?

Popoki's Hot News!



「ポーポキのマスクギャラリー」動画!

<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

「ポーポキのおうち」動画

<https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8>



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのきよにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。
「みんなでたわいもない事で大笑いできる日がまた来ることを信じて。
今日の自分たちに出来ることを頑張りましょう。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか? ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) !

「聞いてください！私たちはこんな夢を抱いています！」活動報告

NPO 法人おはなしころりん

理事長 江刺 由紀子

東日本大震災から 10 年の節目となる令和 3 年 3 月 11 日をむかえるにあたり、被災地では何かと津波の映像や写真を目にすることが増え、そのたびに気持ちが暗くなると多くの方が言う。振り返ることは大切だが、希望のある明るい未来を見据えて、今日を元気に生きることが今の被災地には必要であると考えます。

そこで、子どもたちに夢を語ってもらい、そこから発する力強いエネルギーを受け止めることで住民自身の元気につながられるよう、表題の活動を企画した。子どもたちにとっては、可能性への肯定感と郷土を愛する心の育みにも通じると思われた。

具体的にはアンケート調査活動である。東日本大震災の発災当時に 1 歳だった子どもたちは今、小学 5 年生になり、大船渡市内には 248 人いる。そのすべての 5 年生にアンケートを依頼し、244 人から返答があった。（回収率 98%）アンケートに応じた子どもたち一人ひとりに、ロニー教授作の「ポーポキ、安心して描ける？」絵本を届け、絵本を通じてさらに考えを深めてもらえるよう試みた。今回、このようにポーポキ・ピース・プロジェクトと協力し合えたことはありがたかった。

アンケート内容は 2 つのみ。①あなたの夢はなんですか？（文章 50 字以内）、②あなたを元気にさせるもの・安心させるものはなんですか？（自由に絵を描く）。

①では答えが具体的で「歯科衛生士」「漁師を継ぐ」「消防士」「コロナ対策の薬剤師」「パティシエ」「牧場経営」「プログラマー」など、明確な目標がある子どもがほとんどである。他には「世界平和」「コロナがなくなる」「地球温暖化をなくす」など社会課題をとらえた答え、「水産業で盛んな町にしたい」「障がい者や歩けない人を助けたい」など地域に必要な課題にも応じているのが頼もしい。

②では、のびのびと自由な絵が寄せられて、テレビやゲーム、家族や友人、趣味やスポーツ、自然風景など、傾向はあっても表現は千差万別である。いきいきとした筆遣いに子どもたちの笑顔が見えるかのようである。

公共施設の展示室に、このアンケート結果を地域の住民や観光客に見てもらえるよう展示した。期間は 3 月 11 日から 4 月 22 日まで。展示会後は公共施設内に一部を掲示し、子どもたちの元気を地域に発信し続けていきたいと思っている。

聞いてください!

私たちはこんな**夢**を抱いています!



期間:令和3年3月11日 ~ 3月31日

9:00-22:00

主催:特定非営利活動法人おはなしころりん

後援:大船渡市教育委員会/神戸大学大学院国際協力研究科



東日本大震災から10年の節目となる令和3年3月11日を
むかえるにあたり、震災当時1歳だった大船渡市内全小学校の5
年生を対象にアンケート調査を行いました。

「あなたの夢は何ですか」の問いには文章を、

「あなたを元気にさせるもの、または安心させるものは何で
すか」の問いには自由に絵を描いてもらいました。

子どもたちの明るい未来と希望を感じ取っていただきたいと思
います。

なお、展示にあたり学校ごとではなく、全校を混ぜて順不同で
並べてあります。



おはなしころりんのSDGs

4 質の高い教育を
みんなに



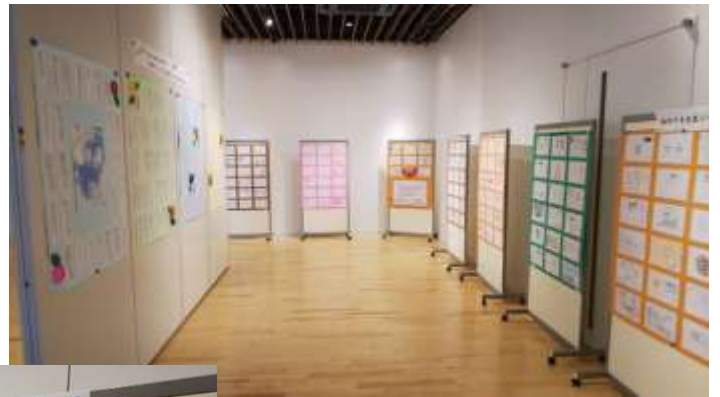
11 住み続けられる
まちづくりを

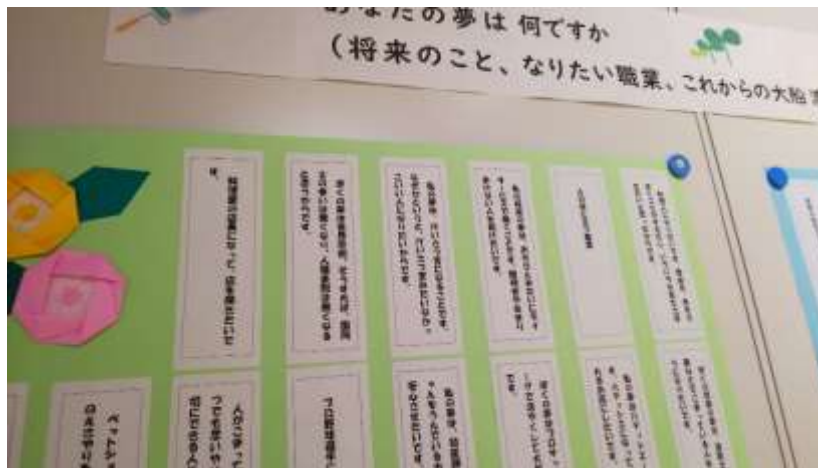


17 パートナリシップで
目標を達成しよう



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS









Popoki's Interview

*新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、日本の子どもたちの話です。

ご存知のように、新型コロナウイルスパンデミックが発生して、一年以上がたちましたが、現在、日本は第4波に直面しています。大阪府は、独自に積極的な対策をとり、「大阪モデル」という感染状況等を示す指標を作成したことで評価されましたが、現在、その感染状況は東京都を上回っています。

一年前、私は同僚と一緒に、無事に対面レッスンを再開できるよう最善を尽くしていました。感染を防ぐための様々な配慮や工夫と、保護者の協力のおかげで、ここまで感染者を出すことなくやってこれることができました。むしろ、以前よりもこの小さいコミュニティ英会話スクールの結束が強まったと感じています。教師として、この一年は本当に大変で、超現実的なものでしたが、私が担当する初めてオンラインで出会った3年生と5年生のクラスの生徒に、この状況をどのように感じているかをインタビューしました。以下インタビューは、半分がアンケート形式・半分が対面形式で行われました。

ベサにゃん

この一年、^{しんがた}新型コロナウイルスを^{こわ}怖く思った時がありましたか。^{とく}特に怖いことは何でしたか。なぜですか。

Aにゃん: はい、自分が行っている学校で新型コロナウイルスが出た時に怖く思いました。(その時に、学校は1日の休みしかなかったと説明した)。

Yにゃん: へんいウイルスです。わかい人もうつりやすいからです。

Sにゃん: 人々が死ぬこと。

YにゃんとAにゃんは同じ学校に通っていて、Yにゃんは、生徒の親が感染したと聞かされました。Sにゃんの親も、同様のことを聞きましたが、Sにゃんの学校は、休校にならず、学校からの正式な連絡もなかったとのこと。Sにゃんは「うざ!」と思いました。

^{こわ}怖い時に、^{あんしん}安心するために何かしますか。

Aにゃん: 寝る。

Yにゃん: 学校や人が多い所はかみマスクをする。

Sにゃん: 好きなアイドルの曲をきく、落ち着く。嬉しくない、悲しくない曲。すとぷりの曲のようなかわいい曲。

あなたは今、^{しんがた}新型コロナウイルスについて、どう思っていますか。

Aにゃん： イヤなウイルス。

Yにゃん： 怒っている。

Sにゃん： はやくいなくなしてほしい。

彼女たちは、何もできず、どこにも行けないことに不満を感じていると話しました。そして後2年はこのような状態がつづくと思っています。

あなたの^{まわ}周りの人は、^{しんがた}新型コロナウイルスについてどう思っていますか。(誰?何?なぜ?)

Aにゃん： (お父さんは)早くなくなればいいと思っている。

Yにゃん： (Dad)早くおわってほしい。

Sにゃん： 友達はコロナがいなくなって、マスクする生活を「ふつう」じゃなくならせたい。

Yにゃんは、今、彼女の母親が中国人の悪口ばかりを言うと言白してくれました。それを聞いたSにゃんは、母親に「すべての中国人が悪いわけではない」と説明してもらったと発言しました。

^{きょねん}去年の今ごろあなたたち3人は、レッスンのために、初めてオンライン上^あで会いました。^{なか}仲

^よ良くなるために、どのように、インターネット^{つか}を使いましたか。

Aにゃん： オンラインでチャットやビデオ通話をしていました。

Yにゃん： トラブルもあったけど、じゅ業びったりの時間にがんばって入った。

Sにゃん： スカイプで、電話をした。

対面で、彼女たちは、オンラインレッスンについて陽気に思い出話をしました。先生が、logoffしても、彼女たちはまだloginしているままだったことが多かったようです。「たまに先生に電話しようと思っていた」と言っていたのですが、実際に、彼女たちはスクールのスカイプに電話したことがあることをすっかり忘れていたようです。そのことについて確かにちょっと叱りましたが、彼女たちがオンラインという環境にも関わらず、先生たちと仲よくしようとしてくれていたことは、嬉しく感じました。さらに、彼女たちはスカイプで使える「鬼滅の刃」のGIF選集に魅せられており、お互いにたくさん送り合っていたようです。年齢差のギャップがあったにもかかわらず、お互いの共通点を見つけて、それを乗り越えたようです。会社が対面レッスンを再開した後も、彼女たちは、チャットをしたり、ビデオ通話を続けていました。そのため、仲良くなりました。

こちらのオンラインの授業^{じゅぎょう}をどう思いましたか。自分の小学校は、対策^{たいさく}として、何をしましたか。どうでしたか。

Aにゃん： オンラインでもけっこう良いと思いました。小学校では練習としてオンラインで一度だけつなぎました。ぜんぜんできへんだった。

Yにゃん： 教室でもオンライン授業もどちらも楽しかった。小学校は6月まで休みだったけれど、その後はずっと対面。

Sにゃん： オンラインでも勉強できるけど、やっぱり会って勉強したい。

AにゃんとYにゃんの学校は「ジャストスマイルドリル」、Sにゃんの学校は「チームズ」というシステムの使用を試みたようです。Sにゃんによると、大阪府内他の学校も同時に使うことになったのため、ネットワークが混雑し、結局4人しか「教室」に入れなかったとのことでした。このたった一回の試みで、どちらの学校も諦めたとのこと。

今は、違^{ちが}っていますか。そうだとしたら、どのように違^{ちが}いますか。どう思いますか。

Aにゃん： ワクチンができたから少しちがっていて、去年のほうがこわかった。

Yにゃん： 学校に行く時間が少しなくなった。悲しい。今、緊急事態宣言でも、人々は出かけています。

Sにゃん： 最初は、みんなが普通のことだと、風邪かインフルエンザくらいのことだと思っていた。今は、違う。去年よりみんな気がゆるんでいると思う。

去年^{きょねん}したいことを出来^{でき}なくなりましたか。したいけど、まだ出来^{でき}ていないことがありますか。それは何ですか。

Aにゃん： 体操のならないごとののはっぴょうかい。

Yにゃん： はい。大分のおばあちゃんの家^{いえ}に本当は行くはずだったのに、行けなくなりました。いことは車で行けるけれど、私たちは飛行機を使わなければならないので、行けなかった。

Sにゃん： プールで泳いだり、旅行したりすることはまだできない。去年、私の学校は運動会を中止にしたりした。

彼女たちに「したくないためにキャンセルしたことがあるか」とも聞きましたか。「思いつかない」と返事しました。しかし、パンデミックの発生の直前、2019年12月末、Sにゃんは家族と一緒に、お母さんの進学のため、ヨーロッパへ大学の見学に行ってきました。彼女は、それが100%決まっていなかったもので、質問に当てはまらないと思いました。けれど、「大嫌いだ。ハワイに行ったほうがよかったのに」と感じていたようです。いずれにせよ、パンデミックが終わるまでは、どこへも行けないのため、今、進学の計画は中止したようです。

もし、一年前に^{もと}戻って、世界^{せかい}中^{じゅう}へ何かをいうこと出来れば、何を言いたいですか。

Aにゃん：「がいしゅつきんし」と言いたい。

Yにゃん： ワクチンをなるべくたくさんの人にうってほしい。

Sにゃん： 中国の人に「日本に来るな」

Sにゃんの回答に驚いたため、詳しく教えてくれるよう頼みました。Sにゃんは中国の旧正月に中国人の観光客がいつも通り日本に来たというよりも、普通より多くの観光客が来たと思っているようです。

新型^{しんがた}コロナウィルスの影^{えい}響^{きょう}でお母さんとお父さんの仕事^{しごと}が変わりましたか。そうだとし

たら、どのように^か変わりましたか。それについてどう^{おも}いますか。

Aにゃん： 変わらない。

Yにゃん： お父さんの仕事がざいたくにかわった。

Sにゃん： 在宅^{ざい}きんむになった。外にでなくていいからいいと思う。

ステイホームの時に、ご^か家族^{ぞく}と一^{いっ}緒^{しょ}に何かしましたか。

Aにゃん： ママとパパと一緒に料理を作った。ママとパパも料理が上手だから、ママと一緒に料理を作る時があり、パパと一緒に料理を作る時もあります。

Yにゃん： 親はまだ忙しかったので、とくにいっしょに何もしていなかったです。

Sにゃん： 映画を観たり、コロナウィルスの前からの写真をみたり、「コロナがなくなると、また行きたいな」と思っていた。

今でも、新型^{しんがた}コロナウィルスの影^{えい}響^{きょう}で、日本^{べん}で勉^{べん}強^{きょう}したい留^{りゅう}学^{がく}生^{せい}が日本には入れない

というルールがあります。それは、知^しっていますか。それについてどう思いますか。

Aにゃん： 国の代表の人たちで、りゅうがくせいのことも考えてほしい。

Yにゃん： かわいそう。

Sにゃん： 知っています。できる限り、早くコロナがなくなって勉強しにきてほしい。

この一年、自分の外国（どこの国でも）についてイメージが変わりましたか。そうだとしたら、どのように変わりましたか。なぜですか。

Aにゃん： コロナが多い国だから少し怖くなった。

Yにゃん： 外出する人が少ない。テレビで見た。

Sにゃん： 変わった。アメリカなどでアジア系の人たちをなぐったり、「帰れ」というのはひどいと思う。

いろいろな国に住んでいる人は、このインタビューを読みます。その人たちに何かを伝えたいことがありますか。

Aにゃん： がまんのじきです。がんばります。

Yにゃん： コロナたいさくをしてほしいです。例えば、ハワイいでは、人々がワクチンをつたうったので、マスクをかねてないひとの感染が拡大している。

Sにゃん： まだまだ問題があるけど、一生に頑張ろう。

現在、彼女たちの学校日程は以下通りです。

AにゃんとYにゃんの学校では、1時間目には家で課題し、2時間目には登校し、3時間目～4時間目は学校で授業があります。それが終わると、給食を食べて下校し、5時間目と6時間目は家で課題します。5月21日から学校がいつも通りに戻ります。

Sにゃんの学校でも、4時間目まで授業があり、その後、全ての生徒は一緒に給食を食べて帰りますが、1時間目から学校へ行きます。5月24日から学校がいつも通りに戻りますが、体育は体育館ではやらず、外でやることになりました。

彼女たちは、宿題が増えていないことと、夏休みについて何も聞いていないことも報告してくれました。

HipHopと体操の中止以外、みんなの習い事は変わっていません。

現在、緊急事態宣言の解除は5月31日の予定です。

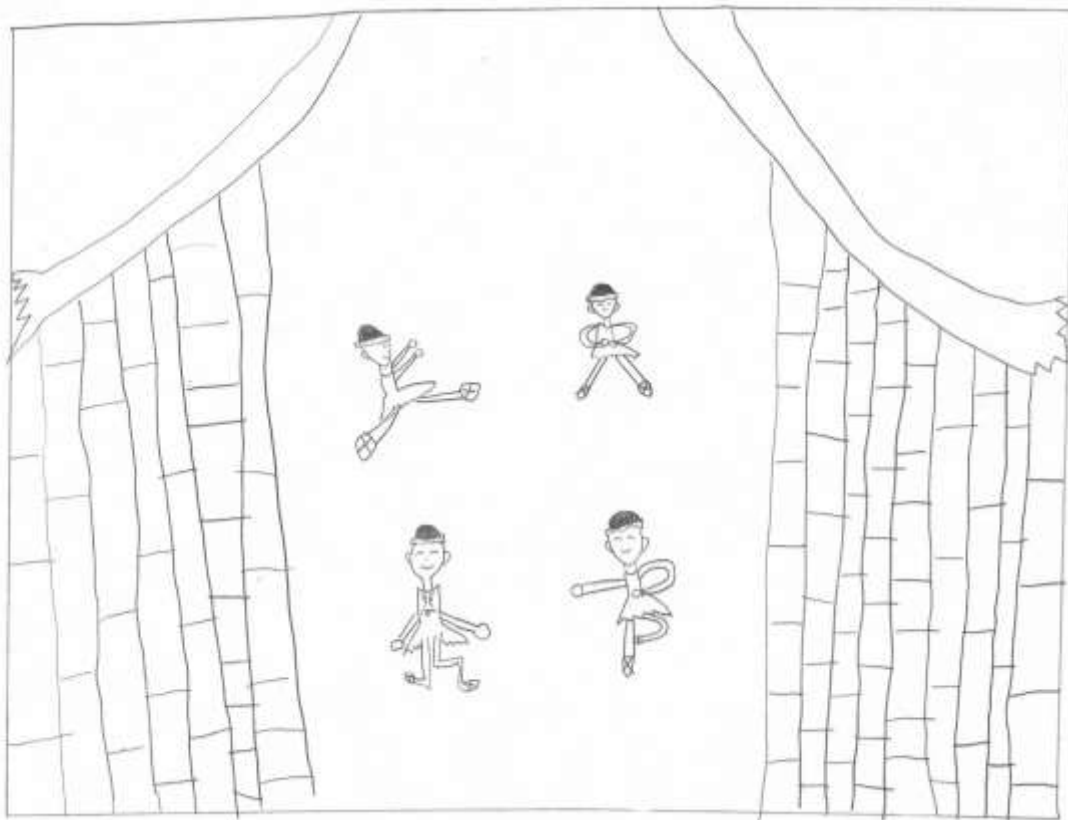


ぼくもコロナがはやく終わってほしい！どの国の人にも会いたいし仲良くしたい！世界中にたくさんの人と友だちになりたい！コロナが世界中に広がっている原因は一つだけではないし、一つの国の責任でもない！このコロナ感染で学んだことの一つは、みんなの元気と健康がつながっているということです。排除するのではなく、みんなで手を取りあって一緒に解決を探るのが大切さ！

一年の出来事を考えて、その考えを示す絵を書いて。



Aにゃん： 毎日、洗濯物を畳んでいる。



Yにゃん: 今年の八月、バレエの発表会に参加する予定です。2年毎のイベントだから特別です。

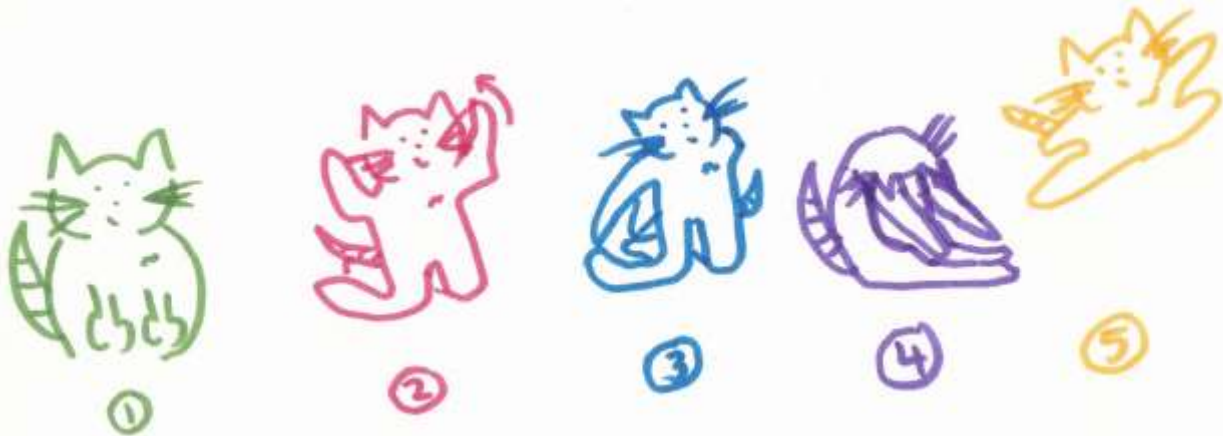


Sにゃん: 好きなアイドルの曲を聴いている私。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 157

今月のテーマは、 肩や腰をストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、膝で立ちましょう。両手をあげて、サボテンのような形でひじを曲げて、手を広げる。顎を下ろし、頭と腰をまっすぐにしながら、ゆっくり、かるく後ろへ。戻ったら、またうしろへ、繰り返しましょう！
 3. 次は、肩甲骨をしめながら、右手を右の足首におき、左手を左の足首におく！難しければ、足の指を立ててみましょう。2～3呼吸して、リラックス。そして繰り返しましょう。それでも難しければ、手をやめて、しっぽでしましょう！
 4. オッケー！最後は、腰を反対方向にのばしましょう。足を前へのばし、手をあまたの上へのばしてから、足に沿って前へ。腰を丸めながら、体を長～くのばします。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：6月12日 Zoom 会議 19:00～* ポー年会も！

***リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

8.4 15:00～16:30 多文化共生セミナーでポーポキ WS：「ねこのポーポキと一緒に安全・安心を考え、平和をつくりましょう」オンライン！要申し込み。

9月～11月 対面灘チャレンジ！？！

ポーポキの友だちからのおすすめの本等

- ・『りょうくんのすすむみちー学校に行けない君たちへ』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019 年。
- ・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
- ・アレキサンダー ロニー&桂木聡子 (2020) 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17-32 (2020 年 1 月発行) http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- ・Alexander, Ronni (2021) “The Meaning of Art in Disaster Support: Stories from the Popoki Peace Project” “Journal of International Cooperation Studies, 28(2), 1-22. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail

絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Dementia,” E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10



私にとってポーポキ

永重史郎（シロニャン）

こんにちは皆さん。

2021年3月久しぶりにポー会に参加しました。

ろにゃん、さとにゃん、久しぶりだね。

私は10カ所以上の活動場所を持っていますが、ポーポキは私の活動の原点です。

会議が終わった後、過去の思い出が次から次へと思い出されました。

Semester at Sea で学生との交流、神戸での広島メモリアルイベントとピッツバーグ・スカイプ交流、兵庫医療大学の平和と健康プログラム、畿央大学では毎回女学生の明るさに元気を頂きました。そして、子ども達から刺激や学びを受けた「あいりん子どもの里」でのワークショップ、パレスティナ・ワークショップでは争いの犠牲になっている子ども達に心が痛みました。多くの思い出の中で、森住卓さんの核実験写真展ワークショップは衝撃的でした。原爆の開発競争に邁進する愚かな人間にストップがかかる時は、人類が滅亡するときかとも考えると切なくなります。でも、ノーモア広島・長崎を訴え続けることは大切な行動だと確信します。もう一度言いますと、ポーポキは私の活動の原点であることは間違いありません。

若い学生は時が来れば新しい人生に向かって旅立ちますが、ポーポキの精神は次のページに引き継がれていくことを信じています。最後に、皆さんにこの言葉を伝えたいです。

「世界的大流行を乗り越え、将来に向けて勇気と自信を持って下さい」～ありがとう～



Photos of Popoki Memories



Semester at Sea
Ship "Explorer"
November, 2011



Remembering
Hiroshima
& Skype
August, 2011



Kio University workshop
June.



Hyogo University of Health Sciences
December, 2019



Palestine
workshop
March, 2010



Mr. Morizumi
Nuclear test photo
exhibition workshop
October, 2009





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動をする予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500円 何円でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!